



## 西ノ島カレンダー2016好評発売中！

今年も西ノ島町観光協会「西ノ島カレンダー」を販売しています。  
今回は地元の方や「フォトコンテスト」に入賞した方などの写真が掲載されています。ぜひお土産に、家庭用に、親戚にお買い求めください。

お買い求めは、

(一社) 西ノ島町観光協会08514-7-8888 (別府港第2ターミナル1F) まで



壁掛けカレンダー 1,000円

## 秋は海外旅行会社の下見や外国人観光客のツアーで賑やかでした！

10月末～11月中旬はイギリス、スイス、アメリカからの旅行会社のスタッフが下見で隠岐・西ノ島に訪れました。島でハイキングや、カヤック、レンタルサイクル等を楽しみ、大自然を満喫されました。スタッフによると外国人観光客は隠岐の新鮮な海産物を食べたり、散策したり島の良さを体感したい人が多いようです。西ノ島じゃないと経験できないこと（おじさんとイカ釣り、焼火神社の宮司さんとお茶、焼火窯で泥染め体験など）をもっとアピールすべき、島民の生活に興味があり、漁師さんや農家さんと一緒に観光メニュー（田舎ツーリズム）を考えたらどう？等のアドバイスをいただきました。関係する皆さんと相談しながら、来年以降のことについて一緒に話したり勉強したりしたいと思っています。



また、11月に初めてのフランスからの団体ツアー（14名）が隠岐シーサイドホテル鶴丸に泊まり、レストランのデザインと船形の大浴場が好評でした。雨の中、摩天崖から通天橋へのハイキング、由良比女神社でイカ探し、安藤本店の試飲、あすかで昼食、ユアーズで買い物、焼火神社で参拝と社務所で抹茶体験などを満喫。「ボランティアガイドさんのおかげでとても良い思い出ができ、西ノ島の素晴らしさを発見することができた。メルシー！」とコメントを頂きました。このツアーの様子はブログで紹介されています。写真でツアーの楽しさが伝わります。<http://blog.tirawa.com/grand-tour-du-japon/2015/11/09/8-novembre-nishinoshima/>

## 西ノ島ふしぎ発見 ④9

～(一社) 西ノ島町観光協会の中山事務局長と今年の観光について話をしました～

**ニコラ** 今年は西ノ島の観光はいかがでしたか？

**中山** 昨年と比べたら、観光客もビジネス客が多かったようで、宿も観光事業者も忙しかったと思います。

**ニコラ** どうしてですか？

**中山** 様々な理由があります。ビジネス客は小中学校や蓄電所等の工事、団体観光客は観光協会が関わっている読売旅行ロマンの旅、クラブツーリズム特別企画、隠岐空港チャーター便、豪華客船等で増えたと思います。

**ニコラ** 今年は他の変化がありましたか？

**中山** そうですね。地域やジオパークの研究を行う大学生、隠岐の自然を満喫したい子供グループ、花や野鳥を楽しみたいグループ、日本の優れた魅力を体感したい外国人観光客も多かったです。

**ニコラ** どうしてこのようなお客さんが増えたと思いますか？

**中山** 世界ジオパークになってから隠岐の取材が増え、テレビ、新聞、雑誌などで隠岐が紹介され、その効果も出ていると思います。観光協会ではインターネットで情報を発信しているし、お客さんは自分のブログやSNSなどで隠岐のPRをしてくれて、とてもありがたいと思います。

**ニコラ** そうですね！最近、不思議な島「隠岐」を体感したい方が増えていて、いいですね！



## 魅力発信中！隠岐の「ご島地グルメ」

「食」は、隠岐世界ジオパークの魅力として欠かせないもの。隠岐4島の様々な食の情報を発信するために活動している「ご島地グルメ実行委員会」の活動について、ご紹介します。

ご島地グルメ実行委員会は、隠岐各島の観光協会スタッフや観光従事者を中心に、各島の飲食店と協力しながら食に関する情報発信や地元食材を活用した商品開発などを行っているグループです。4年前から各島観光協会スタッフ・観光従事者を中心に隠岐ならではの「食の魅力」の情報発信、また隠岐の食材を活用した商品展開等の活動を行っております。過去には、隠岐の豊富なサザエを使った新ご島地どんぶり「サザエ丼」や観光客向けに島の食材の特色を出した船内弁当「隠岐めし」などの新メニューを、開発、商品化しました。特に西ノ島のコンセーユさんのサザエ丼は、サザエを出汁で煮込み、アラメとめかぶと半熟卵を絶妙にトッピングしたもので、販売当初からヒットし、今やなくてはならない隠岐の人気メニューに定着しています。また、他にも「ご島地グルメ」というパンフレットを発行し、各島の飲食店情報や代表的なメニューなどを紹介しています。

「ご島地グルメ」最新号は、スタンプラリーの応募用紙つき、パンフレットで紹介されている店舗で食事をしてスタンプを集めて応募すると抽選で、西ノ島の活アワビと活サザエのセットなど隠岐の豪華グルメ賞品が当たります。開催期間は今年の12月31日までですのでぜひ挑戦を！

また、12月上旬に発行予定のフリーペーパー「ご島地グルメ新聞・あばかん」も要チェックです。地元民が選ぶ飲食店のおすすめ料理や知る人ぞ知る食情報、テイクアウトできる島グルメ、人気のおみやげなどをたっぷり掲載しています。各港のフェリーターミナルや観光協会窓口で入手できますので、ぜひお手にとってみてくださいね。(西ノ島町観光協会)



ご島地グルメ実行委員会のメンバー

▲ 前列左から2番目が委員長の澤井さん。  
後列右から3番目が西ノ島町観光協会の江崎。

## 35万尾のマダイ稚魚を放流

隠岐島前地域水産振興部会では、今年もマダイの放流を行いました。マダイ放流は水産資源を守り育てるために毎年実施しているもので、例年よりも大きく、約10cmに育てたマダイ35万尾を島前の近海に放流することができました。

今年も、西ノ島小学校一年生のみなさんと一緒にマダイの体験放流を行い、島根県水産振興協会による説明やクイズで、マダイや栽培漁業について学習したのち、約5,000尾のマダイ放流を体験して頂きました。子供たちは、放流されたマダイに「元気になって帰ってきてね」と声をかけながら、元気に泳いでいく様子を見守っていました。

### << お願い >>

放流したマダイは、しばらくの間人間の手で餌付けされておりますので、人間に対する警戒心が薄く、簡単に釣り上げられてしまいます。マダイは島前地域共通の大切な資源です。15cm以下のマダイを釣り上げた際は、大きく育つよう放してあげてください。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

